オープンソースソフトウェア　課題①　　　　　　　　　　　　　　　　　　2019/01/29

情報学部情報社会学科三年

　b6p41027 大畑友樹

1. Gitによって解決しようとした課題はなにか。

一つのプログラミングに対して、みんなの都合がたとえ合わなくとも、共同作業を行えるような環境を仲間に提供すること。

1. 問題解決のためにGitで管理しようとしたものはなにか。

開発変更履歴

1. Gitで管理しないと決めたことは何か。

履歴として本質的でない変更

1. 要約

Gitとはオープンソースの分散型版管理システムのことで、Linuxカーネル、X.orgといった有名なプロジェクトが次々とGitに乗り換えて使用している。版管理の主な機能としては、開発変更履歴を正確に記録することができるといったもので、その記録をもとに変更履歴に後から様々な調査を行えるといった二点が挙げられる。つまり、以前の状態に戻ることができたり、変更履歴を調べたり、ディレクトリ構造全体を1つの単位として記録したり、「なぜ」と「誰が」を変更履歴に組み込むことができたりする。これによって、誰が、どういった理由でこのような変更に至ったのか、ということを各々の段階で検査することが可能となる。また、版管理をするに際しては、「履歴として本質的でない変更を記録しない」という基本的な考え方に則って、判断を行う必要がある。そして、版管理システムには「分散型システム」と「集中型システム」の二種類が存在し、分散型は個人が、集中型はすべてのユーザーが状態の記録や変更履歴の公開を行えるようになっている。

1. 感想

Gitというものは、もともと個人的な開発の元、個人的な利用のために使われていたのにもかかわらず、多くの過程を経て、世界中の多くのユーザーに利用されるようなシステムとなったことに驚きとともに感銘を受けた。だからこそ、創始者でもあるLinus Torvalds氏は自分が想定されないような使い方を嫌うのだろう。また、私は今までこういったシステム関係の知識はほとんどなかったが、本書の論理的な説明を読み、非常にわかりやすく内容を理解することができた。